

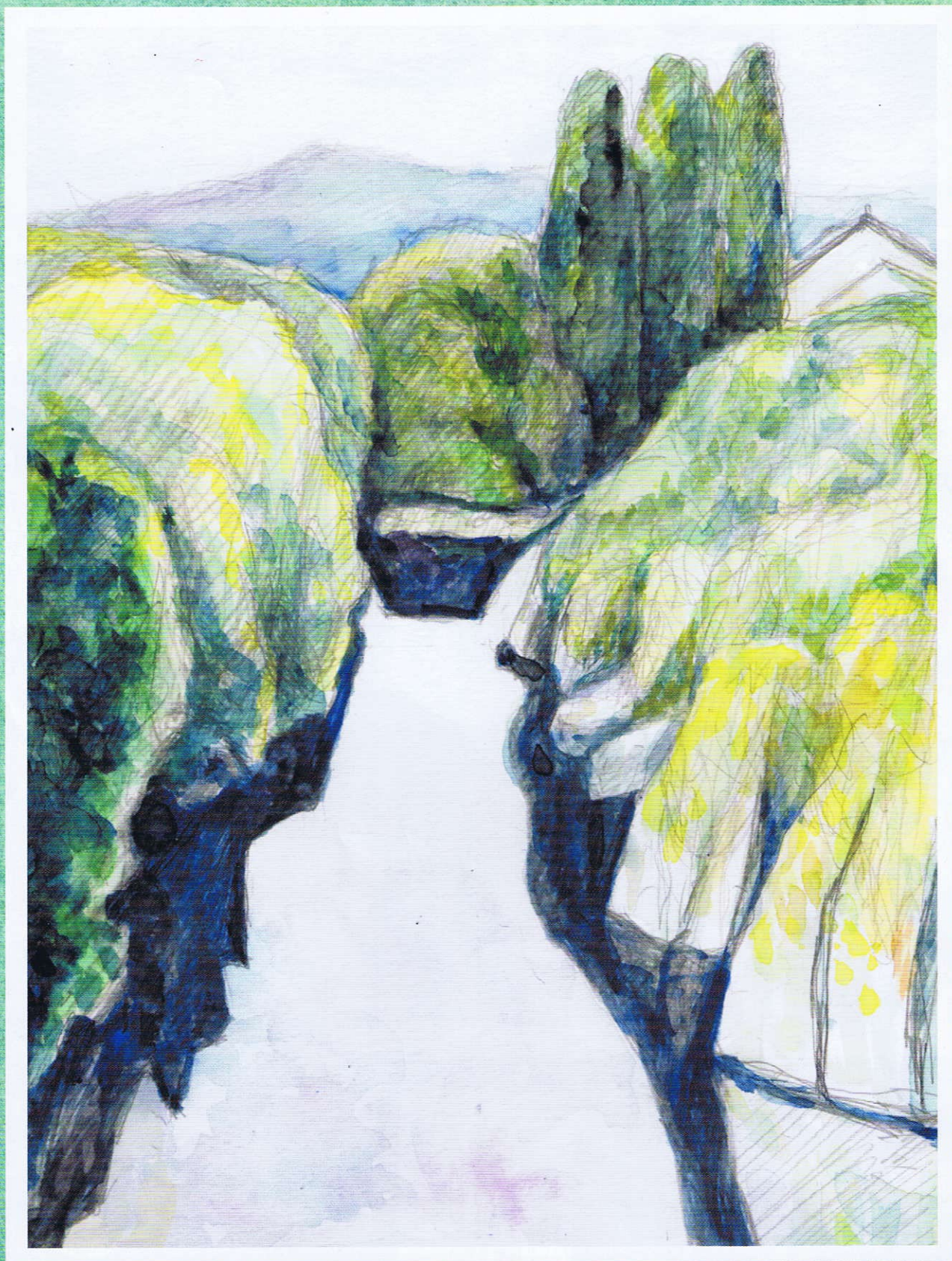


arts-forest

芸術の森デザイン会議会報

Arts-Forest Design Network Information

第6号



農事振興部の活動

農事振興部 田中久美子



写真左から 角、明樹、田中

の普及と共に、レトルトパックや冷凍食品などの加工食品が数多く出回り、また、「中食」という出来合いの惣菜や持ち帰り弁当を買って家で食べるのが増え、「安くて簡単、便利、綺麗で美味しい」食品添加物のたっぷり入った食べ物もなびなく与える親が増えているとのことでした。子供は親を信頼して食卓に出されたものを食べています。日頃の食事を直視して、未来の子供たちの命と健康を守る為に、昔ながらの料理を食べることから始めよう、農事振興部では、講師を招いて「公開講座」を企画開催したり、味噌作りや高菜漬けなどの講習会をしたり、ジャガイモやサツマイモなどの植え付け体験や、郷土料理や地元野菜を使った簡単料理など計画しています。地元で生産収穫された季節ごとの旬の食材をメインにバランスよく、手作りの温かさのある心のこもった「病後食弁当」を、

スポーツゾーン利用客のサービス向上の一環として、大会毎の弁当の受注企画を立ち上げ六月から始めることになりました。メンバーは、お弁当 菜葉屋「ごうちやん」の弓削寿子さんと、たれ・ドレッシング「AUREN」の角ゆかりさんと、福岡県女性農村アドバイザーでアスパラガス生産農家の田中久美子さん。それぞれが楽しむ「食」をモットーに誠心誠意で物事に取り組み、状況に応じて柔軟に対応し、地域づくりの一環として地域ワークづくりを広げ、地産地消を推進し、地域に根ざし地域に愛されればなと思っています。



※写真左は弁当の一例です。

PICK UP!
Creator

デザイン会議に所属するさまざまな分野で活動しているクリエイターたちを紹介していきます。

Creator File 005

津留初仁元 HAJIME TSURU

彫刻を創っています。
津留初仁元です。「後編」



私が創っている彫刻は金属という素材によって発想し、展開してきました。しかし、いつか金属で出来ているわけではありません。作品は、最初に金属という物からインスピレーションを受けて創られ、そこから発展した発想が際立ってきたらそこで止めます。

とにかく金属というものに惹かれないのです。理由はきつと死ぬまで分からないような気もしています。分かった時に、とてつもなく気分にならなそうで嫌いです。「チーア」とは命題とはナンだろうと思いついていました。最初から決まっていたのだなと最近になって思えるようになりました。

それは、「人間が生きているということ。」についてです。これ以上は手続説明できません。インスピレーションとテーマが合致して当然のように形が決まっています。感覚や偶然ではなく、ハッキリとした記憶の中から紡がれたものが形を作っていくのです。そしてデザインが終わる、ついに制作が始まります。

心の中は恐ろしく空虚で何も無い状態で制作を進みます。まるで、世界のどこかにいる誰かを捜しているかのような、高ぶりや切なさや快楽や苦しみがあまろく入り入れ替わりそして、何も無くなった感じです。

制作途中でいろいろと昔のことを思い出したりします。「なぜ、あの時あんな事言ってしまったのだらう...」。友達の事や「あの山は何処だったらう...」。キャンプ中に彷彿した事や「深くで抜けないととても疲れた...」。魚釣りで行った場所の事などほんの瞬間に蘇り消えていきます。

そうしているうちに完成に近づき、いったん手を止めて考えます。本当にこれまで頑張ったんだらうかと。ここでいいのかなと、そしてまっすぐにこう思います。「くだらないから、次に任せて。」と。

芸術活動を真剣に考え、制作を続けそして何かを追い求めることはまさに「人間が生きていくこと」に他ならないのではないかと。私たちが生まれに数百年、成長に心縛らせ、死に怯え受け入れられず、橋根を預し。他の生き物にない人間のオリジナリティを表現していると思えるのです。

わりやくさ、揺れ動くつかみ所のないものも、あるときハッキリとくたくたくと、固く大きなものに見え、猛烈に泣くように感じる時があります。

だから、私は芸術活動に惹かれ、信じて、取り憑かれ生きているように思います。もしかすると、自分自身を知る唯一の出来事だからかもしれません。

私の自己紹介はいつもこんな風にして分りにくさを試しません。

これから芸術の森デザイン会議に参加させて頂くからには、今後の芸術活動が分かり易いから大きな感動を味わえるものになる心掛けてゆきたいです。

この会議が全く新しい芸術の分野を開拓し、世界に発信され、歴史に刻みつけられた価値ある進歩を期することになると感じています。この大なる進歩にかけつけ、少しでも役に立てれば幸いです。



information

おしらせ

From editorial room

編集後記

arts-forest

Arts-Forest Design Network Intimation

次回の原稿締切は8月30日です。

本誌では、展示会や演奏会などの行事各種プロジェクトの進行状況などを掲載していきますので、開催または企画・報告等がある方は本誌をぜひ活用して頂きたいと思っております。原稿は事務局までメールまたは郵送、ファックスでお願いします。送信先アドレスは事務局までお問い合わせ下さい。

最近、日中と夜との温度差が大きいですね。体調を崩した人の咳や鼻をすする音がよく耳に入ります。夏目前と夜と、体調管理には気をつけたいものです。

暑い日々が続いています。クーラー病になっていませんか？ 食欲おちついてませんか？ 健康管理をばっちりして、今年の夏も乗り切ってくださいませ！

Vol. 6

2007年7月15日発行

編集・発行
NPO法人芸術の森デザイン会議事務局
福岡県飯塚市山の井600-3

TEL・FAX 0942-52-1184